

授業科目 老年看護学実習 I	区分・教育内容 専門分野Ⅱ 臨地実習		
授業担当者 黒澤 美奈	開講時期 前期～中期	単位 2 単位	時間数 90 時間
授業の目的 老年期にある人の療養生活を支え、生きがい・QOL 向上を目指した看護を実践できる能力を養う。 授業の目標 1. 加齢による変化や健康課題を持ちつつ生きる、老年期にある人の特徴が理解できる。 2. 老年期にある人の特徴をふまえ、看護を展開できる。 3. 老年期にある対象の価値観を認め、円滑な人間関係を形成できる。 4. 老年期にある人に関する法規や制度・保健・医療・福祉機関を理解し、老年看護の役割について理解できる。 5. 看護実践を通じて、研究的態度を身につけ、自己の看護観を高めることができる。			
授業概要 本実習では加齢に伴う身体的・精神的・社会的機能の変化を理解し、老年期にある人に特有な症候・疾患・看護について学ぶ。また、老年期にある人が生きがいを大切にし、日々の生活が少しでも豊かになるように生活を整える技術、健康生活を支援する方法を学ぶ。臨地実習要綱の学習内容を意識し、行動目標を達成できるように主体的に学習をすすめてほしい。 また、チーム医療および多職種との協働のあり方について学ぶことができる。高齢者の日常生活が滞らないように専門職がチームを組み、活動する実際を学ぶことができる。疾病と付き合いながら地域で生活することになる患者に対し、病院・施設・訪問看護・家族がどのように連携すべきか学んで欲しい。 本実習は、3 年次の実習の中で比較的技術経験ができる実習でもある。積極的に経験し自信を持ってできる技術を増やす機会として欲しい。 授業計画(進め方) 中通総合病院 7 階病棟と血液浄化療法室で実習を行う。 1. 透析室実習：臨床講義や透析患者とのコミュニケーションを通し、血液透析の原理・方法・看護および社会資源の活用の実際を学ぶ。 「透析療法を受ける患者がその人らしく生活するために必要な看護支援」をテーマにテーマカンファレンスを行う。 2. 病棟実習：患者 1 名を受け持ち、看護過程を展開する。 各健康レベルの老年期にある患者の看護、チーム医療および多職種との協働のあり方について学ぶ。 基礎看護技術の経験を積むことによって、自信を持って実践できる技術を増やす。			
テキスト 最新老年看護学 第 3 版 2019 年版 日本看護協会出版会			
参考書・指定図書 井藤英喜 写真でわかる生活支援援助 インターメディカ 小林洋史 透析ハンドブック 医学書院			
評価の方法 実習評価表に沿って評価する。			